

- 1 主題名 じぶんをふりかえって
 1－（4）過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。

- 2 資料名 あらそい（出典：みんなのどうとく3年 学研）

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする価値について

よく考えて、それを行動に移したり自分の言動を振り返ったりすることは、日常生活において欠くことのできない大切なことである。その振り返りの中で自分の過ちに気づき、素直に認めて改めようとするのが自己を高めることにつながっていく。

しかし、偶然起こってしまった友達の過ちに対して、自分がされて傷ついた等の感情が先走ってしまい、その友達に対してよく考えずに行動してしまうことがある。また、過った行動をとったと気付いても、素直に認めて自分から改めることができないことがある。そこで、よく考えて行動し、過ちは素直に改めようとする気持ちを育てたいと考え、本主題を設定した。

（2）児童について

男子16名、女子16名、計32名。普段とても仲の良いクラスであるが、

そこで、本主題を通して自分を振り返ることの大切さを認識し、自分の過ちを認め素直に改めることで、周りもそして自分も清々しい気持ちで過ごすことができることを気付かせたい。

（3）資料について

作文の時間に隣の友達にひじを突かれて、ノートにインクがこぼれたのに、「わざとじゃないよ。」と笑う友達が許せず、「ぼく」は十分考えずに仕返しをしてしまう。素直に謝れず、嫌な気持ちで帰る途中、友達から「けんかはよそう。」と言われて安心するが、自分が悪かったのだから先に謝ればよかったという後悔が残ってしまう。児童が主人公の気持ちに共感することで、自分の行動を振り返り、考えて行動しようという態度につなげていきたい。

（4）指導について

主人公の気持ちの変化に着目させるために、心カードを活用する。それによって、過ちを素直に認めることの大切さ、またよく考えて行動すべきだったという主人公の後悔の念に共感させたい。

これまで道徳の授業では、毎時間、ワークシートを用意し、子どもたちは考えや感じたことを書いてきた。書くことによって、これまでに体験してきたことや授業の中で感じたこと等をよりはっきりと振り返ることができ、今後のめあてを見つけ出せる子も出てきた。本時のワークシートでは、主人公になったつもりで友達のコレッティ君に手紙を書かせることで、自分の行動の振り返りに生かしたい。そして今後の学校生活で、よく考えて行動しようとする意欲につなげたい。

4 本時の目標

自分の行いを振り返り、過ちは素直に認め、よく考えて行動しようとする態度を養う。

5 準備物

ワークシート（手紙、振り返りシート）、場面絵、会話文カード、心カード

6 本時の展開

過程	主な発問と予想される児童の反応	支援（・）と評価（☆）
気付く	1 資料名からどんなことを思いつくか考える。 ○「あらそい」からどんなことを思いつきますか。 ・けんかと同じかな。・なかなか仲直りしにくそう。	・資料に対する興味が高まるよう、自由に発言させる。
考える 深める	2 資料「あらそい」を読んで話し合う。 ○ノートにインクがこぼれてしまったとき、「ぼく」はどんな気持ちになったでしょう。 ・笑うなんて。 ・わざとじゃなくても、許せない。 ・仕返ししてやる。 ○「ぼく」は仕返ししたあと、どんな気持ちになったでしょう。 ・自分はわざとやってしまった。 ・悪かったな。 ・自分のほうが悪いのに。 ◎コレッティから「もうけんかはよそう。」と言われたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたでしょう。 ・ほっとした。 ・仲直りできてよかった。 ・先に謝ればよかった。 ・今度は自分から謝ろう。	・わざとではないことが分かっているでも、ノートを汚されて腹を立てている「ぼく」に共感させる。 ・心カードを活用し、「ぼく」の心の変化を押さえる。 ・理由もつけて、「ぼく」の心の変化を発表させる。 ・「自分が悪かった、謝りたい」という気持ちが膨らんだことを押さえる。 ☆過ちを素直に改めようとする「ぼく」のよさに共感しているか。（心カード）
見つける	3 自分を振り返る。 ○コレッティ君に手紙を書きましょう。 ・ごめんね。ぼくが悪かったのに。ついやってしまって。これからもなかよくしていこうね。	・自分がエンリーコになったつもりで手紙を書かせる。 ☆よく考えて行動することの大切さに気付いているか。（ワークシート）
高める	4 これからの自分について考える。 ○今日の学習を通して感じたことを書きましょう。	・自分のこれまでの行動を振り返らせ、振り返りシートを書かせたい。